

## 「サマリアの女」〈ヨハネ福音書4：1～15〉

主イエスがガリラヤに向かう途中でサマリア地方を通過されます。サマリアはユダヤとガリラヤの間に位置します。歴史的にはユダヤ人とサマリア人の中には敵対関係があります。シカルというサマリアの町に来ました。そこにはヤコブの井戸がありました。主イエスがヤコブの井戸のそばで休んでいます。当時の井戸は地域社会の中心でした。しかし、水汲みは早朝の仕事でした。また足りなければ夕方汲みにいくものでした。この出来事が正午（第6時）に起こったことが強調されます。主イエスは旅の疲れから、その井戸の傍らに、ただ座っておられました。そこへ一人のサマリアの女が、水を汲みに来た。主イエスは彼女に、「わたしに水を飲ませてください」と言われました。主イエスは、私たちと同じような肉体をもってこの地上での生涯を歩まれたので、疲れを感じられることもあったのです。

彼女は共同体から距離を置いて生活していました。このことは本日の重要なポイントとなります。また主イエスがサマリアの女性に「飲み物をください」と頼んだことは、当時のユダヤ人の文化的・宗教的禁忌を破る行為でした。ユダヤ人はサマリア人を避け、彼らと交わることを嫌っていましたが、イエスはこれをあえて無視しました。この行動は、イエスが全ての人々に対して開かれた心を持っていることを示しています。主イエスが公の場でサマリアの女性に話しかけることで、女性の尊重と平等のメッセージを現代に示しています。当時の社会では、特に宗教的リーダーが女性と会話することは一般的ではありませんでした。この水は、物理的な飲み物ではなく、神の恵みと救いを象徴しています。神の恵みが無償であり、永遠の満足をもたらすことが示されています。主イエスが提供する「命に至る水」を明確に表しています。主イエスの関心は、霊的な水、霊的な渇きを満たすことだったのです。罪の中にある人間は、その罪の赦しを経験することなしに魂の渇きが癒されることはないのです。

日本キリスト教団 浦河教会

# 週報

No. 17 2024年7月28日



〒057-0022

北海道浦河郡浦河町昌平町東通 32

牧師 大槻茂勝

090-9716-1353

2024年7月28日 (No.17)

聖霊降臨節 11 主日礼拝

司会 伊藤智之・奏楽 松村 宣恵

ぜん そう いち どう  
前 奏 一 同  
さんびか いち どう  
讚美歌 8 5 (2回) 一 同  
いの しかいしゃ  
祈 り 司会者

せい しょ  
聖 書 ヨハネによる福音書 4 章

1 ~ 15 節 (新約聖書 168 頁)

しかいしゃ  
司会者

さんびか いち どう  
讚美歌 5 7 一 同  
せつ きょう えいえん いのち いた みず ぼく し  
説 教 「永遠の命 に至る水」 牧 師  
さんびか いち どう  
讚美歌 4 6 0 一 同  
けんきん かんしゃ いの いち どう  
献金 と感謝 の祈り 一 同  
しゅ いの いち どう  
主の祈り 6 2 一 同  
しょう えい いち どう  
頌 栄 キリストの平和が (1, 5) 一 同  
しゅく とう ぼく し  
祝 祷 牧 師  
ほう こく  
報 告

あた ち こ かた ひさ かた しょうかい  
新しく来られた方・久しぶりの方の紹介

こんしゅう しゅうかい  
【今週の集会】

いっしょ せいしょ よ いの かい  
◇一緒に聖書を読み祈る会

にち すい じ れいはいどう  
7月31日 (水) 19時 於 礼拝堂

しょう せつ しんやくせいしょ べいじ  
〈マルコ8章14~21節〉(新約聖書76頁)

さんびか  
讚美歌 433・567

じしゅう よてい  
【次週の予定】

◇主日礼拝 8月4日 (日)

聖書 創世記 27 章 18~29 節

讚美歌 16番・575番

いっしょ せいしょ よ いの かい  
◇一緒に聖書を読み祈る会

にち すい じ れいはいどう  
8月7日 (水) 19時 於 礼拝堂

しょう せつ しんやくせいしょ べいじ  
〈マルコ8章22~26節〉(新約聖書77頁)

さんびか  
讚美歌 436・575

らいしゅう れいはいしかいしゃしかいしゃ き  
【来週の礼拝 司会者を決めましょう】

①山本充枝 ②内村直人 ③半田かおる

④伊藤知之 ⑤山根耕平 ⑥岸澤恵美

⑦高崎 晋 ⑧山本 潔 ⑨早坂 潔

⑩荻野 仁 ⑪和田智子 ⑫吉田公子

しゅうかいとうけい  
【集会統計】

集会名	出席者	献金
主日礼拝 (7月 21 日)	18名	8,340 円

祈祷会 (7月 24 日)	7名	
------------------	----	--

の とほんとうじしんきゅうえんぼきん  
能登半島地震救援募金

7月 21 日 926円 累計 16,643 円

頌栄 キリストの平和が

1. キリストのへいわが わたしたちのこころのすみずみにまで 行きわたりますように

5. キリストのゆるしが わたしたちのこころのすみずみにまで 行きわたりますように